

令和3年 第1回 ナザレ園サポート24 常陸太田

(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)介護・医療連携推進会議

議 題

- ① 令和2年度会計報告
- ② 事業報告(実績)
- ③ 次回開催日時について

2022年3月実施予定。

ナザレ園サポート24 常陸太田
令和2年度 事業活動明細書

(単位:円)

		勘定科目	金額	
サービス活動増減の部	収益	介護報酬収益	29,717,817	
		利用者負担金	3,827,133	
		自費サービス	132,840	
		サービス活動収益計(1)	33,677,790	
	費用	人件費	23,960,790	
		事業費	901,655	
		事務費	3,238,539	
		減価償却費	2,088,011	
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 1,083,091	
		退職給付引当資産取崩差損	0	
サービス活動費用計(2)		29,105,904		
		サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	4,571,886	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	38	
		雑収益	0	
		サービス活動外収益計(4)	38	
	費用			
		サービス活動外費用計(5)	0	
		サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	38	
		経常増減差額(7) = (3) + (6)	4,571,924	

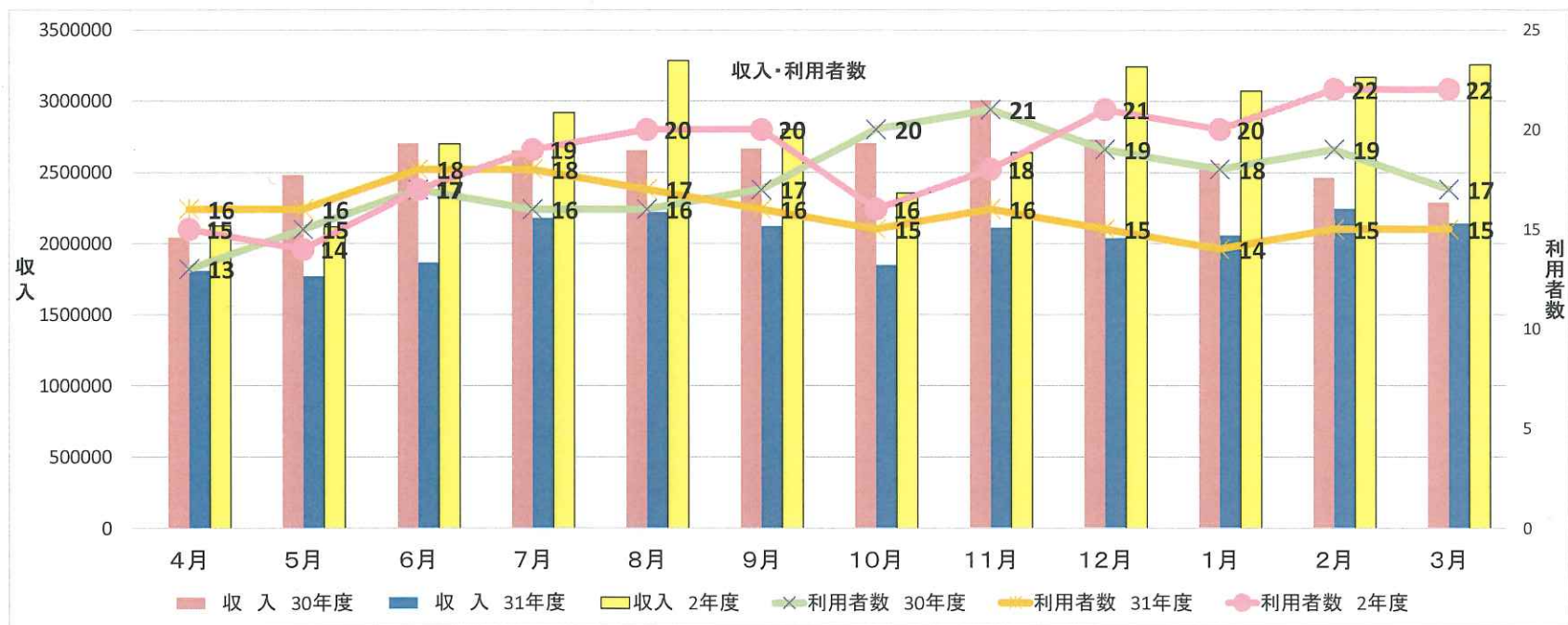
ナザレ園サポート24 常陸太田 令和2年度 会計資料

<事業収入>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成30年度	2,041,580	2,479,590	2,702,210	2,652,890	2,654,070	2,665,950	2,701,930	3,001,960	2,727,800	2,560,490	2,459,660	2,285,350	30,933,480
平成31年・令和元年度	1,807,090	1,770,490	1,867,190	2,180,810	2,219,880	2,120,850	1,846,280	2,108,140	2,034,260	2,054,120	2,242,990	2,140,730	24,392,830
令和2年度	2,122,240	2,117,220	2,701,390	2,918,080	3,284,370	2,801,056	2,356,474	2,640,620	3,242,396	3,069,950	3,168,350	3,255,644	33,677,790

<利用者数>

平成30年度	13	15	17	16	16	17	20	21	19	18	19	17	208
平成31年・令和元年度	16	16	18	18	17	16	15	16	15	14	15	15	191
令和2年度	15	14	17	19	20	20	16	18	21	20	22	22	224



令和3年4月～令和3年9月までの事業報告（実績）

4月 【23件】

新規

- ・男性 70代 （要介護1）独居
悪性ポリープ摘出・糖尿病治療のため入院。
病院より退院。
1日2回訪問：安否確認、バイタルチェック、服薬・インスリン投与確認、掃除、調理などで利用開始。
- ・女性 80代 （要介護4）独居
末期がん 病院より退院。
1日3回訪問：バイタルチェック、食事介助、排泄介助、清拭、更衣、家族への介護指導・相談・助言。

隣に住む妹様がほぼ付きっきりで介護しており家族の負担軽減のため、訪問診療・訪問看護（医療）と連携を図りながら看取り対応にて利用開始。

利用中止

- ・女性 90代 （要介護5） 独居
隣家の知人の方の協力、遠方に住む娘様の定期的な訪問あり。
娘様不在時の間、夜間は家政婦経験がある知人が付き添い対応。
ご家族、知人の方と連携を図りながら支援していた。
認知機能、ADLの低下みられコロナ禍で娘様の帰省が難しくなり、娘様住居に近い施設でショート利用（不定期）と定期巡回で在宅生活継続の計画を立てたが、施設よりご家族の希望通りのショートステイ利用は空きがなく難しいとのことであった。
施設入所までロングステイなら受けられるとのことで利用中止となる。

（利用期間：2年10か月）

・女性 80代 (要介護1) 独居

ご夫婦での施設入所が決まっていたがご本人の拒否があり、ご主人のみ有料老人ホームに入所となる。遠方に住む娘様たちは夫婦で施設に入所の希望がありご本人を説得していた。一人暮らしが不安になった利用者様から頻回に事業所へTELがあり、その都度、傾聴や訪問にて不安解消に努めた。やはりご主人と一緒に居たいと施設入所を決意され利用中止となる。

(利用期間：1か月)

5月 【24件】

新規

・女性 70代 (要介護3) 老夫婦世帯

1日3回訪問：起床介助、トイレ誘導、洗面介助、バイタルチェック、食事介助、入浴介助 (週2回)。

難病あり ADL低下 ご主人の持病・介護疲れもあり負担軽のため訪問開始。

・男性 80代 (要介護1) 老夫婦世帯

1日2回訪問：安否確認、バイタルチェック、内服確認。

定期巡回利用中の奥様 (要介護5) の介護をしていたが認知機能低下がみられ内服忘れが多くなる。教員をしていたこともありプライドが高く自分は介護の必要がないと拒否があったが、ご家族からの依頼で訪問開始。

・女性 90代 (要介護1) 息子と同居

転倒による腰椎骨折にて入院 病院より退院。

1日2回訪問：安否確認、バイタルチェック、調理 (一緒に) 入浴介助 (週2回)。

同居の息子様は就労しているが持病もあり通院中。

退院後の安否確認・ご家族の介護負担軽減のため利用開始。

利用中止

- ・女性 80代（要介護4）
末期がんにて看取り対応。
26日間の在宅生活で妹様・姪夫婦に看取られ昇天される。
（利用期間：26日）

6月【25名】

新規

- ・女性 80代（要介護3）独居
転倒し腰椎骨折にて入院 病院より退院。
1日2回：安否確認、バイタルチェック、調理、掃除、入浴などで利用開始。

新規／利用中止

- ・男性 90代（要介護3）息子夫婦同居
末期がん 病院より退院。
1日3回訪問：安否確認、バイタルチェック、食事介助、内服介助、排泄介助、体位交換、清拭、更衣、介護者への指導・助言。

近隣に住む娘様も献身的に介護され、訪問診療・訪問看護（医療）と連携を図りながら看取り対応にて利用開始。
利用から8日間の在宅生活で息子夫婦・娘様にみとられ昇天される（利用期間：8日）

7月【25名】

新規

- ・女性 80代（要介護1）独居 総合支援⇒定期巡回
1日1回訪問：安否確認、バイタルチェック、服薬確認、買い物、調理（一緒に）。

要支援1にて週1回のヘルパー訪問利用されていた。
内服忘れが多く認知機能低下みられ区分変更 要介護1となり安否確認のため利用開始。

利用中止

- ・女性 80代（要介護3）独居 定期巡回⇒訪問介護
6月から利用開始していたがリハビリ目的のデイサービス週2回利用しながら自分で調理するなどADL向上。退院後の不安も軽減され毎日の訪問は必要ないとのことで週3回の訪問介護に変更となり利用中止となる。（利用期間：2か月）

8月【23名】

新規契約なし

利用中止

- ・女性 70代（要介護3）老夫婦世帯
5月から利用していたが難病のためADL低下みられ、近隣市在住の息子夫婦は非協力的なため在宅での介護が難しく、ご本人は以前から施設入所を希望しておりご主人が入所申し込みをしていた。
持病のあるご主人が病状悪化し入院となったため、ご本人はショートステイ利用しながら施設入所待ちをするとのことで利用中止となる。（利用期間：4か月）

利用停止

- ・男性 90代（要介護1）老夫婦世帯
带状疱疹にて入院となり利用停止

9月【22名】

新規契約なし

利用休止

- ・男性 70代（要介護1）独居
4月から訪問開始していたが体調崩し入院され利用休止となる。（利用期間：5か月）
- ・男性 80代（要介護2）老夫婦世帯
70代女性（9月利用中止者）の夫
献身的に要求の多い奥様の世話をしていた。
ADL低下みられ体調崩し肺炎にて入院となり利用休止となる
（利用期間：1年4か月）

利用中止

- ・女性 70代（要介護4）老夫婦世帯
80代男性（9月利用中止者）の妻
持病が進行し認知機能・ADL低下顕著となる。
ご主人の入院により、独居生活困難となりロングステイ利用しながら施設入所待ちとなり利用中止となる。
（利用期間：4年6か月）

- ・男性 90代（要介護1） 老夫婦世帯（8月利用停止者）
 带状疱疹は良くなったが入院中に脳梗塞再発、誤嚥性肺炎にて
 昇天され利用中止となる。（利用期間：2年7か月）

- ・女性 90代（要介護1） 老夫婦世帯
 90代男性（9月利用中止者）の妻
 ご主人が入院中独居となり「主人の大切さに気付いた。
 退院後はガミガミ言わず優しく接してあげようと思う」と
 話されご主人の退院を待ち望んでいたが、ご主人死去にて精神
 的落ち込み酷く認知症も進んでしまう。訪問回数を増やす提案
 をしたが、独居での生活は心配だと、つくば在住の息子夫婦と
 同居することになり、つくばへ移住され利用中止となる。
 （利用期間：2年7か月）

*令和3年度 4月から9月までの新規契約者 8件

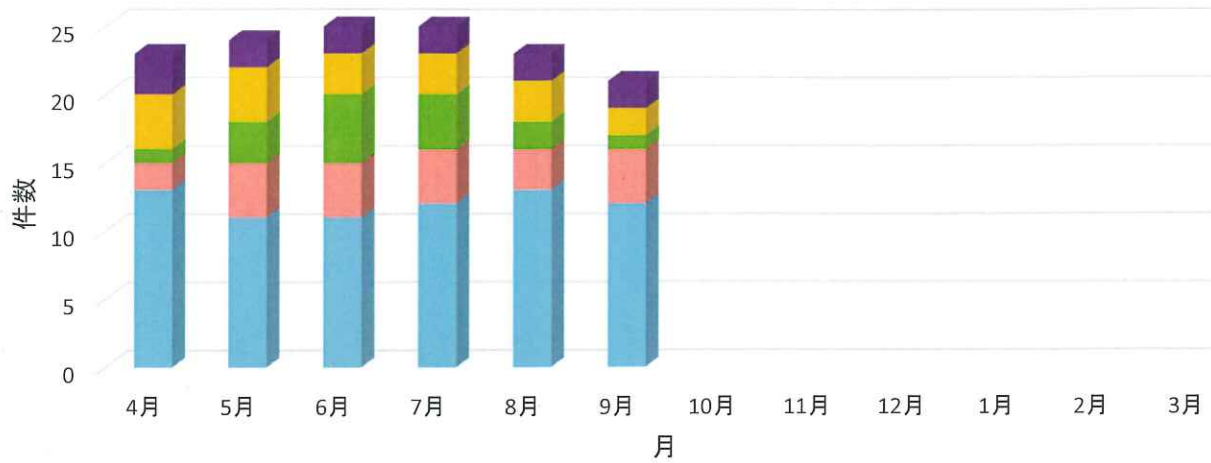
*事故・苦情 報告 0件

高齢者世帯の支援においては、お互いに要介護者であっても支え合いながら生活が成り立っている。

どちらか一方が施設入所や入院などにより単身世帯となった場合、精神的なバランスが崩れてしまい、ご家族の不安や心配が増し在宅での生活が継続できなくなってしまうケースが多い。

そうなった時にどうするかを事前に利用者様・ご家族と話し合っておき、一人暮らしとなった場合の在宅生活継続の可能性の共通認識をもちながら支援を進めていくことが重要だと思った。

令和3年度介護度別 月別利用人数

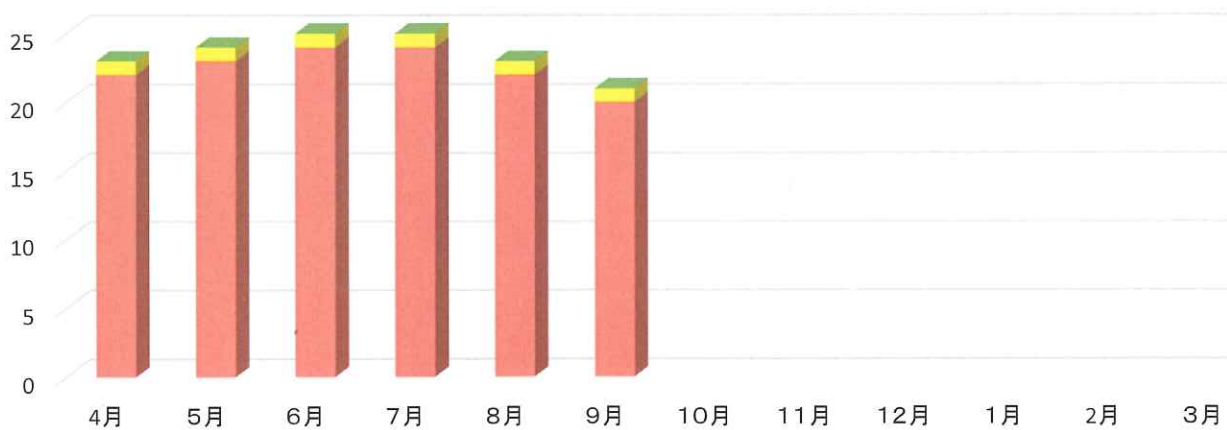


利用人数 件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	13	11	11	12	13	12						
要介護2	2	4	4	4	3	4						
要介護3	1	3	5	4	2	1						
要介護4	4	4	3	3	3	2						
要介護5	3	2	2	2	2	2						

R3年4月～R3年9月

新規契約 8 件

地域別利用者件数



地区別 件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
太田	22	23	24	24	22	20						
金砂郷	1	1	1	1	1	1						
水府	0	0	0	0	0	0						
里美	0	0	0	0	0	0						